JForest

森林組合だより

令和8年 1月1日
発　行
第 157 号

令和8年 新年号

本荘由利森林組合
由利本荘市水林381
TEL 0184-24-4141㈹　　FAX 0184-24-4143
HP http://www.honmori.com/　メール honmori@trad.ocn.ne.jp

新年のごあいさつ

代表理事組合長　小　松　佳　和

新年あけましておめでとうございます。

新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、当組合の運営並びに事業の推進にあたり、組合員の皆様をはじめ、関係の行政機関、団体の皆様に多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨今、林業を取り巻く環境は、森林所有者の経営意欲の低下、林業従事者の高齢化や人材不足、木材価格の低迷、気候変動による自然災害の影響など、直面する課題は多岐に及んでおります。

一方で、AIやロボットなどの先端技術を導入し、林業の生産性や安全性向上を図るスマート林業や、持続可能な森林管理と再生可能な森林資源の利用を目指した、「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用への取り組みが全国的な高まりを見せ、林業が再び地域経済の柱として期待されるような新しい動きも出てきております。さらには、森林整備や国産材の利用促進などを支援する森林環境譲与税の創設、また、若い世代の林業への関心が高まり、次世代を担う人材が増えていることも希望の光となっております。

このような時代の潮流を追い風に、名高い亀田藩の植林家・石川善兵衛公など、これまで幾多の先人が築き上げてきた県内屈指の森林資源を、次世代に誇れる豊かな森林として継承していくため、引き続き、役職員一丸となって組合運営に取り組み、外部環境の変化にも対抗し得る強靭な経営基盤を構築して参りたいと考えております。

また、新たな技術の導入や経営改善などにも積極的に取り組み、効率的な事業活動と未利用資源などの有効活用を一層推進し、地域に貢献する地域林業の中核的担い手としてのスキルをさらに高めるための研鑽にも尽力して参りますので、今後とも、組合員の皆様をはじめ関係者の皆様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして実り多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

代表理事組合長　小松佳和
副組合長理事　佐々木法夫
副組合長理事　鈴木　充
理事　佐藤健一
理事　齋藤惣一郎
理事　今野廣一
理事　佐藤勝榮
理事　佐藤　衛
理事　板垣正昭
理事　小松幸夫
理事　武田清光
理事　佐藤　勉
理事　三浦　功
理事　熊谷典夫
理事　伊藤修二
理事　田口　基
理事　小番　勲
理事　小笠原俊彦
理事　鈴木敏規
理事　浅田照信
代表監事　佐藤憲一
監事　村上佐左衛門
監事　加藤　進
外　職員一同

6年ぶりに技術講習会を開催しました

令和7年10月31日（金）、昨年度の「第30回造林コンクール」において最優秀賞を受賞された岩城地区の矢野吉美氏の山林にて、令和7年度技術講習会を開催しました。

令和元年以来、6年ぶりの開催となった今回は、受賞者の矢野氏および当組合の宮野専任指導員を講師に迎え「山林の手入れの極意」をテーマに講習を行いました。整然と手入れの行き届いた山林を前に、参加した組合員からは感嘆の声が上がり、その美しい景観に多くの方が圧倒された様子でした。

矢野氏は、「やっぱり山が好きだから、山での作業は苦にはならない。それが手入れを続けるうえでの一番の秘訣」と語り、参加者も深く頷いていました。その後の質疑応答では、活発な意見交換が行われ、参加者同士の交流も一層深まりました。

また、宮野専任指導員は、「矢野氏の山のように手入れが行き届いていると、人間の気配を察してクマも近づかなくなる。そういった意味でも山の手入れは非常に重要です」と語りました。昨今はクマの出没も多く、山林に入るのも慎重を要する状況ですが、安心して山に入れる日が戻った際には、今回の経験を糧に、より魅力的な山づくりを進めていってほしいと思います。

西目高校1年生を迎えて企業説明会を開催しました！

令和7年11月12日(水)、本所にて当組合の企業説明会を開催し、西目高校1年生約30名が参加しました。

説明会では、まず事業内容や各部門の役割について紹介し、日々どのような仕事が行われているのかを説明しました。続いて、現場で使っている大型機械やチェンソーによる木の伐倒作業の映像などを、状況説明を交えながら視聴していただきました。今回は時間の都合上、現場での作業を直接見ていただくことはできませんでしたが、実際の動きや作業の流れ、スタッフ同士の連携などを生で見るような感覚を体験できる内容で、映像の臨場感により、職場の空気や仕事のリアリティを肌で感じ取ったようです。

締めくくりには、学生からの質疑応答を行い、仕事内容、働き方、学生時代に取り組んでおくべきことなど、多岐にわたる質問が寄せられ、回答に熱心に耳を傾けていました。

今回の説明会に参加した学生からは「業務の具体的なイメージが持てた」との声をいただき、当組合としても将来のキャリアを考える一助となれたことを嬉しく感じています。

今後も地域の学生や求職者の皆さまに、森林組合の仕事を知っていただく機会を積極的に設けてまいります。

第69回 秋田県森林組合大会

令和7年11月20日(木)、「秋田テルサ」(秋田市御所野)において、第69回秋田県森林組合大会が開催されました。

県内の10組合の役職員の他、秋田県副知事、東北森林管理局長、森林・林業・林産業活性化推進議員の会会長、農林中央金庫秋田支店長、全国森林組合連合会会長等の御来賓及び多くの林業関係者が出席しました。

大会は県森連副会長を務める秋田中央森林組合組合長の石川平臣氏の宣言で開会し、JForest森林組合綱領唱和の後に当組合組合長でもある小松佳和県森連会長の挨拶に続いて、御来賓の御祝辞と御祝電が披露されました。大会では森林資源の循環利用と適切な森林管理の推進、人材の確保・育成とスマート林業による木材生産流通の促進、森林組合系統一丸となった再造林拡大の推進が決議され、森林組合系統の総力をあげて邁進することを誓いました。

挨拶をする小松県森連会長

JForest森林組合綱領唱和を行う遠藤課長補佐

【決　議】

系統運動方針「JForestビジョン2030」に基づき、約3万人の組合員とともに、再造林の推進による資源の循環利用と、林業経営の管理や将来の林業を担う人材の確保・育成等を推進し、森林・林業の持続的な発展に取り組む決意である。

本日ここに、秋田県、東北森林管理局、秋田県市長会、秋田県町村会、農林中央金庫秋田支店の後援のもと、第69回秋田県森林組合大会を開催し、次の事項の実現に森林組合系統の総力をあげて邁進するものである。

一、森林資源の循環利用と適切な森林管理の推進

二、人材の確保・育成とスマート林業による木材生産流通の促進

三、森林組合系統一丸となった再造林拡大の推進

以上、決議する。

令和7年11月20日
第69回秋田県森林組合大会

◆林業功労者
秋田県森林組合連合会会長賞
工藤　喜作

▶ 第72回秋田産業安全衛生大会にて当組合職員が優良作業員 ◀

令和7年10月1日（水）、あきた芸術劇場ミルハスにて開催された第72回秋田産業安全衛生大会にて、当組合の技能職員1名が優良作業員として表彰を受けました。

本表彰を励みに、引き続き、無事故・無災害の職場づくりに向け、組合一丸となって取り組んで参ります。

◆優良作業員　須田　渉（林販課技能職員）

▶ 本荘由利森林組合が全国森林組合大会にて表彰！ ◀

令和7年10月21日（火）、第30回Jforest全国森林組合大会（国際協同組合年記念大会）が東京都の銀座ブロッサム中央会館にて開催され、秋田県からは本荘由利森林組合が全国森林組合連合会会長表彰を受けるとともに、功労者表彰では3名の現場技能者が優良技能者として表彰されました。

今回授与されたこれらの栄誉を糧として、当組合では今後も地域林業の発展に向けた事業に全力で取り組んで参ります。

◆優良組合表彰　本荘由利森林組合

◆功労者表彰　斉藤一樹（林販課技能職員）
小松竜太（林販課技能職員）
伊藤優貴（加工課技能職員）

第31回 労働安全衛生大会

12月5日（金）、第31回労働安全衛生大会が開催されました。毎年開催されているこの大会は、安全に対する意識をより高めるために、職員・技能班を対象に開かれています。

大会では、安全講話を行い、優良運転者への表彰、代表職員による安全宣言を行って、労働災害ゼロを誓いました。

安全講話では、林材業労災防止協会秋田県支部参事の米澤実氏を講師としてお招きし、「林業労働災害の撲滅に向けて」と題して、ご講演いただきました。

【大会宣言】　造林課　土田理久哉

私達は、安全管理の重要性及び労働災害防止活動を確認し、本大会の開催を契機に無事故・無災害の決意を新たに、災害防止対策を全力で取り組むことをここに宣言致します。

多様な仲間と
築く安全
未来の職場

〜優良運転者表彰〜

■無事故無違反

３０年	阿部	正輝（鳥海支所職員）
２５年	阿部	久（参事）
	古川	暢（岩城支所職員）
	渡邊	正明（林販課技能職員）
２０年	遠藤	佳苗（林販課職員）
	高橋	敦（造林課技能職員）
１５年	斎藤	肇（加工課技能職員）
１０年	清水	翼（林販課職員）
	草刈	賢一（東由利支所職員）
	本間	康太（総務課職員）
	伊藤	優貴（加工課技能職員）

木材市況情報（令和7年）

単位：円、上段（石当り価格）
下段㎥当り価格

樹種	材長 m	径級 cm	12月2日 本荘由利木材流通センター 高値	安値	平均価格
スギ	3.65	14下			
		16～22	(4, 402) 15, 850	(4, 250) 15, 302	(4, 340) 15, 627
		24～34	(4, 401) 15, 846	(4, 165) 14, 997	(4, 303) 15, 492
出材量・販売量・販売率			703㎥(2,530石)・703㎥(2,530石)・100％		

12月：県外勢を含む常連組の参加で、満遍なく手当が入り完売。価格は16～22㎝・24～34㎝が15,800円／㎥と強含みで大型工場が量をまとめた。

～ 各種届け出のお願い ～

相続等による名義変更をされていない方は速やかにお手続きをお願いいたします。特に自己都合による脱退については、今年度脱退の締切が**令和８年１月末**と期日が迫っておりますのでご注意ください。ご不明な点がございましたらご遠慮なくお問い合わせください。

●賦課金納入

令和７年度分の賦課金について、未納の方は速やかにご入金ください。納入方法、納入先、また納入有無の確認等、ご不明の点がありましたらご連絡ください。

●相続届

相続開始後９０日以内にご提出ください。郵便物が亡くなった方の名前で届いてしまうほか、補助申請や選挙などに支障をきたす場合がございます。速やかにお手続きをお願いいたします。

●法人、団体、代表者名の変更

法人、団体、地域等、団体名で加入されている組合員様で、「団体名の変更」又は「代表者名の変更」がございましたら届け出をしていただく必要がありますのでお問い合わせください。

●住所及び所有山林面積の変更届等

組合からの郵送物が届かない、電話連絡が取れない方がいらっしゃいます。引っ越し等で住所や連絡先に変更がありましたら、お早めにご連絡ください。また、所有山林面積に変更がある場合、来年度の賦課金額に変更が生じるため、こちらもお早めにお手続きをお願いいたします。

●脱退届

自己都合で組合から脱退をご希望される方は、今年度内の脱退届の提出締切は**令和８年１月末**までとなっております。所有山林をすべて売却した等の理由で組合員資格を喪失した場合の脱退については、令和８年３月末までにお手続きいただければ今年度内の脱退となります。

なお、対象の組合員が既に亡くなっている等の理由で不在の場合や法的に相続放棄をしている等で相続人がいない場合は当組合へお問い合わせください

森林組合だより　令和八年一月一日発行　印刷・㈲由利印刷

木材流通センター　由利本荘市西目町沼田字新道下1019-1　TEL0184-32-1088　FAX0184-32-1089
製材工場『木香里』　由利本荘市西目町沼田字新道下1020-1　TEL0184-32-1080　FAX0184-32-1081